



県央かわら版

第131号

令和5年11月20日発行

発行所

一般社団法人県央研究所

静岡県の特養で集団食中毒 利用者2人死亡

静岡県は、西伊豆町の特別養護老人ホームで利用者と職員あわせて33人が腹痛や下痢などの症状を訴え、2人が死亡したと発表。患者の便から、腸管出血性大腸菌O157が検出され、県は施設で出された給食が原因の集団食中毒と断定しました。

保健所によると、症状があつた全員が施設で昼食として提供された給食を食べ、検査の結果、10人の患者の便から「腸管出血性大腸菌O157」が検出されたということです。

県は、この施設の調理を担当していた「日本ゼネラルフード」に対し当分の間、営業禁止を命じました。

会見で静岡県衛生課の太田課長は「営業を再開する前に徹底した消毒と従業員の教育を求めたい。原因についても今後、詳細に調査していきたい」と述べました。

参考・引用：NHK NEWS

横浜の「牛角」で21人が食中毒 ノロウイルス検出

神奈川県横浜市の、焼き肉チェーン「牛角」の横浜ムービル店（西区）で食事した、10代の男性21人が腹痛や発熱などの症状を訴え、うち8人からノロウイルスが検出されたと発表しました。市は食中毒と判断。同店に対し、営業禁止処分を命じました。

市によると、市内の学校関係者から、同店で食事した49人のうち約20人が食中毒の症状を呈しているとの連絡があり、いずれも軽症だということです。

参考・引用：FNNプライムオンライン



PICK UP NEWS

ローソンで発売 「味のしないガム」登場☆

ローソンは、ロッテの「味のしない？ガム」を全国の店舗で発売。味がほとんどせず、ほど良い弾力で心地よく噛み続けることができるガムになっています。同商品は「味のしない？飴」に続くシリーズ第2弾商品でパッケージは3種類。考える人・ダビデ像・ミロのヴィーナスをイメージした銅像のイラストを用いることで、「味がしないので黙々と噛むことができる」というメッセージを表現しているということです。参考・引用：クランクイン



JAL使用済みコーヒー粉で タンブラー商品化！

日本航空（JAL）と傘下のJALUXは、空港ラウンジなどで提供した、コーヒー抽出後のコーヒー粉を再利用した「オリジナルタンブラー」をJALのショッピングストアで販売開始。内部は二重構造で結露せず、温かい飲み物を入れてもスリーブなしで持つことができます。容量は280ml、耐熱温度は100度。価格は1980円（税込）。廃棄されていた抽出後のコーヒー粉が、繰り返し利用できるタンブラーに生まれ変わること、食品廃棄物や石油由来のプラスチック量を削減。タンブラー1点の購入につき、JALが参画している社会貢献事業「TABLE FOR TWOプログラム」に20円寄付され、開発途上国の子どもに給食1食分が贈られるということです。参考・引用：Aviation Wire



いよいよ冬到来！ 早めに備えよう😊

気温が低くなり、いよいよ冬がやってきます。本格的な冬の前に、余裕をもった準備が必要です。

タイヤ交換について街で聞くと「雪降ったらではダメですか？」「寒かったり暖かかったりするの、いつ交換していいのかわからない」と、皆さんタイミングを決めかねている様子。

福島県福島市の「タイヤ館福島」店長・鈴木さんは「12月からはかなり混み合う。そうすると、なかなか予約が取れなくなる」と話し、早めの交換を呼びかけます。

さらに「新品のスタッドレスタイヤは、本来の性能を発揮するには、慣らし走行が必要。氷の上で効くゴムというのが、一皮剥かないと本来の性能を発揮するゴムが出てこない」といいます。

また近年は、急な積雪や予想外の大雪で車が立ち往生して大渋滞を引き起こし解消まで何日もかかってしまうケースも珍しくありません。



万が一に備え、車に用意しておくと安心なグッズをご紹介します。

■防寒着やカイロ、毛布など

暖房がとまってしまった際の車内温度の低下に備え暖をとれるものを備えておきましょう。

■水や非常食、充電器、簡易トイレ、懐中電灯
長時間、車内で過ごすことや夜間のトラブルを想定して準備しておきましょう。

■ブラスターケーブル、ロープ、タイヤチェーン
バッテリー上がりの際に使用する、ブラスターケーブルや発進不能になったときの脱出に役立つ、牽引ロープもあると良いでしょう。スタッドレスタイヤだけでは対処しきれないほどの積雪にも対処するため、タイヤチェーンもあると役立ちます。

■軍手、ゴム手袋、長靴、スコップ

雪道で立ち往生してしまった場合、原則、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンかけるときは、マフラーが雪に埋まらないように、こまめにマフラーのまわりを除雪しましょう。

雪道運転 万が一に備えて安心のグッズ



参考・引用：tenki.jp

皆様からの情報・ご意見をお待ちしております。県央かわら版では、食品・環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただくものや、旬な話題等が一般社団法人県央研究所 県央かわら版事務局 電話 0256(46)8311 FAX 0256(46)8310 Eメール info@kenoh-labo.jp



号外！！

今回は県央研究所のイベントのご案内です！



当研究所は多様化する諸情勢を受け、昭和 50 年に高野食品相談所を開設。昭和 58 年に業界と生活者の間に立った中立公正な公益法人となり、明るい豊かな生活環境を目指して、食と生活環境を中心とした問題の試験・検査・研究等の業務を展開しています。

当研究所の基本姿勢は、ただ単に数値的な解析をするのではなく、その目的を果たすためにはどうしたらよいかまで一緒に考えることにあります。お客様が本当に望んでいるものは、数字の大小ではなく確実な問題解決方法だと、当研究所は考えます。そして問題を解決するためには、対象をより深く見つめられる確かな眼と最先端の技術が必要です。当研究所はこのような最先端の技術を通じ、お客さまと一緒にさまざまな問題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

〒959-1241 新潟県燕市小高 6014 番地

TEL : 0256-46-8311 E-mail info@kenoh-labo.or.jp

営業時間／8：30～17：30

第15回 イルミネーション点灯式

今年も残すところ一カ月余りとなりました。この一年の悲喜こもごもの想いを鮮やかな光の下で巡らせ、幸せに満ちた新年を皆様を迎えていただきたいとの思いから、弊所では例年に引き続き、イルミネーションの点灯を行う運びとなりました。近年の新型コロナウイルス感染症は5類感染症へと引き下げられましたが、ウィルスが完全に無くなったわけではありません。変異株の発生リスクへの警戒と冬に向けての感染再拡大も懸念されております。このような状況下ではありますが、イルミネーション点灯を楽しみにしている地域の皆様方のことを考え、今年も皆様と一緒に恒例の12月1日にイルミネーション点灯式を開催いたします。



催事名

第15回「イルミネーション！コミュニケーション！」

令和5年12月1日（金）

ノロ大王ぬり絵 表彰式 16時30分

イルミネーション点灯式 16時45分

点灯期間

令和5年12月1日（金）から 令和6年1月15日（月）まで

展示作品

①子ども達による ノロ大王のぬり絵展示（検査研究棟1階窓）

②プロジェクションマッピングによる

書・篆刻作家 柳澤 魁秀氏の作品展示(2022年作品)

◆昨年のイルミネーション点灯の様子



◆昨年のキッチンカー出店の様子



やきとり多門さんのキッチンカーがやってくる！

12月1日（金）16：30～

＊メニュー＊ 唐揚げ・モツ煮・玉こんにゃく etc.

☆モツ煮はお持ち帰り用の販売もあります！

やきとり多門さんの唐揚げは・・・

一つ食べれば笑顔はじける！

二つ食べれば走り出す！！

三つ食べればみんな幸せ！！！！

～イルミネーションの起源～

◆イルミネーションの起源は？

イルミネーションの起源には諸説ありますが、その中で、一般的に伝えられているのは起源16世紀。宗教改革で知られるドイツの「マルティン・ルター」が始めたと言われています。彼は夜、森の中で煌めく星を見て感動し、木の枝に多くのロウソクを飾ることでその景色を再現しようとしていました。その後、電球イルミネーションを始めたのは、白熱電球の研究・開発を進めた、「トーマス・アルバ・エジソン」。彼は自分の研究所の周りを白熱電球で飾り付けたそうです。これが、世界初の電球でのイルミネーションとされています。

◆日本でのイルミネーション歴史

日本にイルミネーションが登場したのは明治時代。大阪や東京の内国勧業博覧会の会場が、たくさんのイルミネーションで飾られました。また、舶来品を扱う『明治屋』が銀座に進出し、12月15日から毎晩イルミネーションを点灯したことが人々の話題となり、年々派手になっていく装飾にたくさんの人が押し寄せたそうです。

100年以上も昔から、寒い冬にきらめくイルミネーションは日本の人々の心を引きつけているのですね。

県央のつぶやき

今年も弊所にてイルミネーションの点灯を行います。毎年多くの方から「楽しみにしているよ」「今年も綺麗なイルミネーションだね」など多くの嬉しいお言葉を頂いております。

是非一度お越しください！！